



社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2025年 10月1日

＊＊保育目標 聞法 よくききます＊＊

- ・先生やお友だちのお話をよく聞き、自分の考えも言える。
- ・季節の変化に気づき、自然事象にも興味を持つ。

## 今月の行事予定

6・20日 礼拝 発育測定(14日 うさぎ・りす  
15日 ぞう・きりん 16日 あひる・ひよこ)

20日 クッキー作り 21日 誕生会

23日 奉仕作業

30日 いもほり(ぞう・きりん) (雨の時 11/5)

31日 未満児おさんぽ参観日

避難訓練



### 【法話】 六つの心(迷いの心)

9月27日のきららドームでの「わくきら☆スポッチャ」では、温かい御声援、有り難うございました。みんなで考え計画し、猛暑のなか練習し、そして当日は、保護者と一緒に競技して応援するという、笑顔いっぱい「わくきら☆スポッチャ」になったことをうれしく思います。

私たちはみんな「心」をもっています。でも、その心は、一人一人みんな違います。そして私一人の心でも、一瞬一瞬ひとときも同じ心でいることはありません。

仏教では、六道<sup>ろくだう</sup>といって、私たちの心は大きく分けて六つに変わると説かれています。

・地獄<sup>じごく</sup>の心(人を責めたりいじめたりする鬼のような心)

・餓鬼<sup>がき</sup>の心(あれが欲しいこれが欲しいという心)

・畜生<sup>ちくしやう</sup>の心(恩や恥を知らない心)

・修羅<sup>しゆら</sup>の心(怒っているときの心)

・人間<sup>にんげん</sup>の心(苦しいことがいっぱいの心)

・天上<sup>てんじやう</sup>の心(大喜びで自分のことしか考えない心)

の六つです。

私たちの心は、朝から晩まで、生まれて死ぬまで、この六つを繰り返します。これが六道輪廻<sup>ろくだうりんね</sup>で、私たちの迷いの姿なのです。六道輪廻は、死後の輪廻ではなく、今、生きている時に輪廻しているから、それを迷いというのです。

迷いを迷いと知らずに生きている私たちが、この迷いの世界から出て、さとりの世界へと至る道を、仏教・仏道と言います。

### わくきら応援団

富士商ドームに響く、わくきら応援団の声。こどもたちや保護者の皆さんの緊張をかき消して、楽しいスタートを作ってくださいました。

2年前に施行された子ども基本法にもあるように、「保育園の行事は、子どもの意見を取り入れて進めること」と明記されるようになりました。今年の「わくきら☆スポッチャ」は、より子どもたちが主体的になれるためにも、保護者の皆さんのやりたい事もお聞きしながら、どちらも一緒にやる事が楽しいと思える事を真ん中に、進められてきました。

速く走りたい。かけこのゴールで抱きしめたい、抱きしめられたい。お家の人と手を繋いで走りたい。お家の人に抱っこやおんぶをして欲しい。パン食い競争がしたい。お家の人や一年生と勝負がしたい。サークルタイムをして最初より速くなりたい。子どもたちの成長や笑顔を近くでしっかりと感じる事……様々な思いが実現できました。

保護者の皆さんが、子どもたちに寄り添って(子どもになりきって、子どもと同じ目線で)、一緒に全力で楽しんでいただいたおかげで、その思いが子どもたちに届いたように感じます。一緒にできた楽しさはもちろん、お家の方が僕たち私たちをおぶって、汗いっぱい頑張って下さった事。負けても諦めないで最後まで頑張ってくださいました。サークルタイムの作戦会議の結果、大人チームもとても速くなった事。高いところに手が届いたり、重い物を軽々と持ち上げられる事。大人からの優しい声かけ……その全てが、子どもたちにとっての憧れの姿、こんな大人になりたいと思えること、生きていることの楽しさ・安心感、そして自己肯定感に繋がっていくのではないのでしょうか？

わくきら応援団は、役員さんだけでなく、全ての保護者の皆さん、ご家族の皆様、先生たち、来賓の皆様、地域の皆さんすべての方々です。ありがとうございました。そして、これからもずっと応援をお願いいたします。

